

薬剤師ならではの 「薬物乱用防止教室」



本冊子について

近年、「薬物乱用防止教室」に参画する薬剤師（特に学校薬剤師）が増えており、他の職種と比べて小学校では最も講師として活躍しています。一方、中学校、高等学校ではその割合が低くなっています。「薬物乱用防止教室」には新たな課題に対して専門家からの視点をもった情報提供をすることは重要であり、薬剤師にはその役割を担うことが期待されています。そこで、教職員や高校生にも身近に感じられる題材を選択し、薬剤師が専門性を生かしながら活用できる参考資料を作成しました。

なお、薬剤師が中学校、高等学校で参画するためには、校長等管理職や養護教諭をはじめとして保健体育科教諭、生徒指導担当教諭、保健主事等との連携も大切ですので、是非積極的に声をかけ、連携を図るようにしてください。

アンチドーピング編

医薬品の適正使用に関する指導は、中学校・高等学校の保健体育科で行われており、薬剤師は医薬品の専門家として関わるのが大切です。ドーピングは中学校や高等学校の学習指導要領でも取り上げられており、薬物乱用であるとともに、医薬品の適正使用に関する問題でもあります。さらに、「頭が良くなる」などと称してインターネット等で広まっているスマートドラッグも現代的な課題です。そこで、本冊子では、薬物乱用として「アンチドーピング」を取り上げ、医薬品の適正使用と関連付けた講演ができるような参考資料を作成しました。この資料を用いて、「うっかりドーピング」から「かかりつけ薬剤師」の役割、有用性についてもぜひアピールしてください。

大麻編

近年、大麻については、インターネット等において、「有害性がない」等の誤った情報が氾濫しており、青少年の大麻乱用の拡大につながっているといわれており、現代的な課題です。大麻については海外において嗜好目的での使用が認められるなど、子供を含めた多くの人にとって、その危険性が伝わりにくくなっています。そこで、本冊子では、「大麻」を取り上げ、高校生にも一緒に考えてもらう講演となる参考資料を作成しました。

くすりの使い方を考えよう！

～健康な生活をめざして～

20**年**月**日

〇〇〇高等学校

学校薬剤師 〇〇●●



ポイント

本日は話す内容を明確にしましょう！

ポイント

自己紹介の際に、学校薬剤師の役割について簡単に触れるのもよいでしょう。

スライドの解説例

私は、この学校の学校薬剤師の〇〇●●です。学校薬剤師は、教室の明るさ、空気の汚れ、飲料水の水質など皆の身の回りの環境衛生の状態をチェックし、皆さんの健康を守る役割を担っています。

今日は、ドーピング問題を取り上げ、医薬品を正しく使うことの大切さと薬物乱用防止について皆さんと考えていきたいと思います。

スポーツで感動したことはありますか？



ポイント

最初に、生徒が自分たちの経験から、スポーツの意義や価値について考えるきっかけを投げかけます。

補足

オリンピックやワールドカップなど生徒が身近に感じられる競技の場面が例示されています。

スライドの解説例

一生懸命努力を重ねて試合に臨む選手たちの姿は応援したくなりますよね。もちろん素晴らしい成績を残したときは、皆喜びます。でも、勝敗に関わらず、正々堂々と戦う姿、友情、チームで支えあう様子などに感動する人もいます。

2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催

国際オリンピック委員会 (IOC) が掲げる
3つのオリンピックの価値

- Excellence : 卓越性
- Friendship : 友情
- Respect : 敬意・尊重



補 足

高等学校の保健体育科の体育理論においてオリンピックやパラリンピック等の国際大会について取り上げられています。

ポイント

日本で開催されることを受けて、身近な問題として捉えられるようにします。

スライドの解説例

オリンピックやパラリンピックは国際親善や世界平和に大きな役割を果たし共生社会の実現にも寄与していることを既に学びましたでしょうか。2020年には、日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。楽しみにしている人も多いでしょう。日本に招致ができたのは、ドーピングが少ないことも理由の一つといわれています。

10年前と同じ感動や栄光は得られない

2008年北京オリンピック
男子400mリレー



世界新記録で優勝

優勝したチームの選手の尿を再検査した結果、禁止薬物の使用が判明し失格処分



2018年に金メダルはく奪処分となり、日本は3位から2位に繰り上げされた

ポイント

実際のドーピング事例について触れます。オリンピックに関しては、明るい話題だけではなく、毎回ドーピングによる違反が報告されて問題となっています。

スライドの解説例

日本は、このリレーで銅メダルを獲得していました。オリンピック終了10年後に、銀メダルを授与されたとしても、当時と同じ栄光や喜び、感動が得られる訳ではありません。

補 足

2008年北京オリンピック男子400mリレーにて、ジャマイカの4名のチームが世界新記録で金メダルを獲得しました。8年後に国際オリンピック委員会 (IOC) が再検査した結果、オリンピック当時に採取した優勝チームの選手1名の尿から興奮作用のある禁止薬物メチルヘキサミンが検出されました。IOCは、ドーピングが明らかとなったジャマイカチームを2017年に失格処分とし、2018年、競技の順位は一つずつ繰り上がり、日本チームが2位となりました。

ドーピングってなんだろう？

競技力向上のために**禁止薬物**や
方法を使用したり、使用を隠したりする行為

ドーピングは世界共通の規則で禁止

- ① **試合の公平さの欠如**
フェアプレー精神に反する
- ② **反社会的**
スポーツの価値を損なう行為
- ③ **アスリートの健康被害**
薬物による有害作用



規則を違反したら、「**成績・記録の失効**」や
「**出場資格停止**」などの厳しい制裁があります。

ポイント

ドーピングについて定義を説明します。

ポイント

ドーピングは世界共通の規則で禁止されていること、その禁止理由を説明します。

スライドの解説例

選手は競技力を向上させるために、日々練習を積み重ねて努力しています。その中で、薬物の力を利用して強くなるのは、スポーツマンシップ、フェアプレー精神に反する行為です。その様なルール違反が横行した試合を見ても、感動は生まれません。さらに、ドーピングは選手自身の健康も害します。これらのことから、ドーピングは、世界共通のルールとして禁止されていて、違反をした場合は厳しい制裁があります。

ステロイド薬による副作用

筋肉増強作用がある薬物では**男性の女性化乳房**や
ムーンフェイス、**にきび**が起りやすくなります。



補足

ドーピングによる健康被害の例として、タンパク同化作用のあるステロイド薬の副作用を挙げています。

その他にも分かりやすい例（ β 受容体作用薬の心臓に対する影響など）を挙げるとよいでしょう。

スライドの解説例

ドーピングで医薬品等の薬物を使う場合は、病気を治すために使う量よりも多くの量を、長い期間使うことになるため、有害な作用が起こる可能性が高く、体を壊す危険があります。例えば、筋肉を増やす作用がある薬物では、男性でも乳腺が発達し、胸が大きくなるなどの症状が出てくる可能性があります。薬物で競技能力を高めることは、自らの健康を引き換えにしていることなのです。

うっかりドーピングって

聞いたことがありますか？

禁止されている**医薬品**を**不注意**で**使用**してしまうこと
治療目的でも、**違反行為**となることもある



2015年 柔道競技者が国際大会出場
 の遠征先で風邪をひいてしまい、禁止
 薬物が入っていることを知らずに市販
 薬を服用。アンチ・ドーピング規則違
 反となる可能性があるため、欠場した。

**競技会等を目指すアスリートには
 より厳しいルールがある！**

ポイント

競技能力を向上する作用をもつ
 医薬品等は、たとえ、治療目的
 でも選手にとってはドーピング
 違反の対象となることがあるこ
 とを説明します。

補足

日本におけるドーピング違反の事
 例は、「うっかりドーピング」が多く
 を占めています。しかし最近では、
 意図的に他の選手に禁止薬物を摂
 取させる事例も報告されています。

スライドの解説例

不注意で禁止されている医薬品等を使用してしまうことを「うっかりドーピング」といいます。競技者として上を目指す人は、守るべきルールがより厳しくなります。したがって、競技力向上を目的とせず、摂取を意図していない場合でも、違反行為となり、制裁の対象となります。

スポーツ選手が使用できる

薬はどれでしょう？

1	メチルエフェドリン アセトアミノフェン プロムヘキシン ジヒドロコデイン	2	キキョウ トコン マオウ ニンジン
3	マシン シャクヤク ダイオウ	4	アノイドエフェドリン クロルフェニラミン グリチルリチン酸 カフェイン
5	ケイヒ バンクレアチン ホミカエキス ロートエキス	6	カツコン、マオウ タイソウ、ケイヒ シャクヤク、カンノウ ショウキョウ

補足

ここでは、医薬品の成分名を
 知ってもらうのではなく、一般
 の人には馴染みがないことを確
 認しましょう。

ポイント

風邪薬や花粉症の薬、漢方薬に
 も禁止物質が入っていることが
 あることを説明します。

スライドの解説例

さて、ここでクイズです。これは、薬局で購入することができる医薬品です。この中で、オリンピックに出場するようなスポーツ選手が使用することができる医薬品はどれでしょう？

実は全部× スポーツ選手は使用できません。医薬品の中のこの（赤下線が入る）成分が禁止物質に該当します。このようにカタカナが多い難しい名称を見ても、禁止物質が入っているかはすぐには分からないですね。

うっかりドーピングを防ぐために

薬やサプリメントなどについて薬剤師に相談しましょう。



健康管理のために

「かかりつけ薬剤師」を決めると安心です

※かかりつけ薬剤師とは自分のことを知ってもらい、健康や薬のことについて、いつでも相談にのってくれる専属薬剤師です。

補足

(公社)日本薬剤師会は、毎年改定される禁止薬物に対応した「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」を作成し、選手でも使用可能な医薬品をリストにしています。

ポイント

「かかりつけ薬剤師」について知ってもらう良い機会となります。

スライドの解説例

禁止物質は毎年見直されます。すなわち、これまで使用可能だった医薬品でも、次の年には禁止になっていることがあります。だからと言って、選手は体調不良の際に、すべての医薬品が使用できない訳ではありません。薬剤師は、禁止物質を含んでいない医薬品を提案することができます。特に選手はドーピング違反の防止や健康管理のためにも、自分のことをよく分かっている「かかりつけ薬剤師」をもつことが大切です。薬剤師はいつでも相談に乗ってくれます。

医薬品を使用するための大切なルールです

- ① 使用**目的**が適切であること
- ② 使用**量**が適切であること
- ③ 使用**頻度**が適切であること



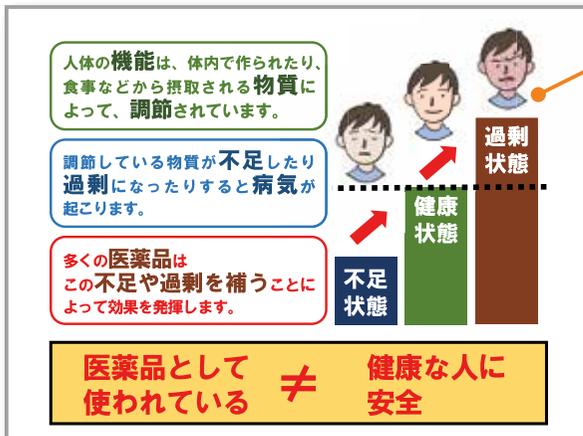
スポーツ選手に限らず、ルールを守らないと、**「薬物の乱用」**になります

ポイント

先ほどまでは、スポーツ選手に対する規則でしたが、ここからは、一般的に、医薬品の適正使用の重要性について触れています。

スライドの解説例

スポーツ選手に限らず、みなさんが使用する医薬品には、使用目的、使用する量、使用するタイミングや回数などの頻度が決められています。これらのルールを守らないと、健康被害が生じることがあります。医薬品を医療目的以外に使用したり、用法・用量を守らなかったりすることは、薬物乱用です。



ポイント

医薬品は、病気を治療したり再発や悪化を防ぐために使用します。本来医薬品が不要である健康な人が、使用した場合には、健康被害が生じる可能性があることを伝えましょう。

スライドの解説例

医薬品と聞くと、体に悪くない、むしろ良いのではないかと思いませんか？人体の機能は、体内で作られたり、食事などから摂取される物質によって、調節されています。多くの病気は、その調節している物質が不足したり過剰になったりすると起こります。多くの医薬品は、この不足や過剰を補うことによって効果を発揮します。医薬品は、間違った使い方をすると調節している物質が不足したり、過剰になったりして危険な場合があることを覚えておいてください。

頭の良くなる薬なんてない！

勉強もスポーツと一緒に！
日頃からの努力が大切！
頭の良くなる薬なんて存在しないし、君たちに必要ない！

「スマートドラッグ」受験生に拡散 厚労省が輸入規制
副作用や依存症懸念
2016/1/15 11:30 | 日本経済新聞 電子版

「頭がスッキリする」「集中力が上がる」などの効果をつたう「スマートドラッグ」について、厚生労働省は2月に個人輸入の規制を強化する。本来は睡眠薬などの副作用に使う医薬品だが、記憶力向上などを期待する受験生らに広がっているという。覚せい剤などの副作用がたり依存症になったりすると、専門家から警告が出ている。

ポイント

勉強もスポーツと一緒に、日頃からの努力が大切であることを伝えましょう。

ポイント

脳の機能や能力を高めることができるサプリメントや薬と称して、抗てんかん薬や認知症の薬を販売している例があります。海外からの個人輸入品も多く、品質的にも問題となっています。医療目的以外の不適正な使用は薬物の乱用であることを確認します。

スライドの解説例

スマートドラッグとは、記憶力や認知機能を高めるとうたって流通されている医薬品やサプリメント等です。受験生などが乱用するケースが増えています。医薬品を病気の治療、再発や悪化を防ぐため以外の目的に使用することは「薬物乱用」です。これらは、海外から個人輸入して販売されているものも多く、安全性が確認されていません。誤った情報に惑わされないようにしましょう。勉強もスポーツと一緒に！日頃からの努力が大切！頭の良くなる薬なんて存在しないし、君たちに必要ない！

スマートドラッグには危険がいっぱい



ポイント

スマートドラッグの使用による健康被害について説明します。

補足

抗てんかん薬がスマートドラッグとして個人輸入されています。それらには、ステーブンス・ジョンソン症候群やアナフィラキシーショックの報告があります。

スライドの解説例

スマートドラッグと呼ばれるものは様々な種類があります。いずれも脳に作用することから、危険がいっぱいです。スマートドラッグを使用したことによる健康被害が発生しています。頭痛や吐き気などだけではなく、生死にかかわることもあります。また、スマートドラッグの中には、依存性をもつものもあり、使用していないと落ち着かなくなったり、やめたくてもやめられなくなるものもあり危険です。

「かかりつけ薬剤師」は、

身近な健康の相談役！



ポイント

スマートドラッグなどの誤った情報に惑わされず正しい決断をすることは、自分と自分の大切な将来、そして自分の大切な人を守ることを説明します。

ポイント

「かかりつけ薬剤師」は、うっかりドーピングの相談だけでなく、健康に関して何にでも相談に乗ることを説明します。

スライドの解説例

スマートドラッグなどの誤った情報に惑わされず正しい決断をすることは、自分と自分の大切な将来、そして自分の大切な人を守ることです。かかりつけ薬剤師は、アスリートでなくても誰でも持つことができます。自分のことをよく知ってくれている「かかりつけ薬剤師」は、身近な健康の相談役です。勉強に疲れて体調が優れない時に相談してみても？

大麻について考えてみよう！

20**年**月**日

〇〇〇高等学校

学校薬剤師 〇〇●●



ポイント

本日は話す内容を明確にしましょう！

ポイント

自己紹介の際に、学校薬剤師の役割について簡単に触れるのもよいでしょう。

スライドの解説例

私は、この学校の学校薬剤師の〇〇●●です。学校薬剤師は、教室の明るさ、空気の汚れ、飲料水の水質など皆の身の回りの環境衛生の状態をチェックし、皆さんの健康を守る役割を担っています。

今日は、大麻を中心に薬物乱用について皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

薬物乱問題用は、多様化複雑化している

	はじめは…	切れると…	乱用が続くと…
危険ドラッグ	興奮系 MDMA LSD等 大麻	はじめは… 頭がさえてくる	切れると… 吐き気が強く吐き出し
	抑制系 フェニチン ベンゾジアゼピン	気持ちよくなる	無気力
	幻覚系 MDMA LSD等 大麻	キラキラ気分	幻覚

ポイント

乱用される薬物は様々あり、作用が異なることについて説明します。

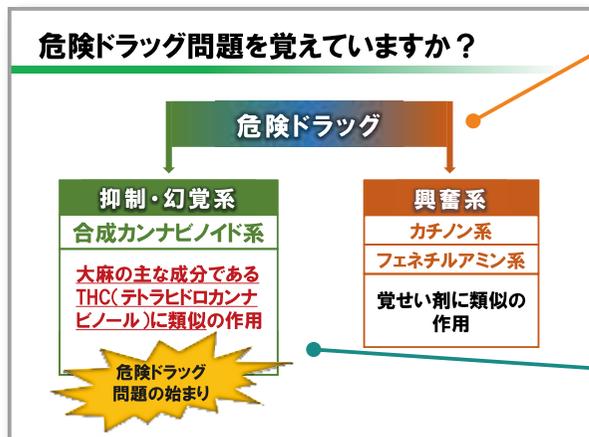
ポイント

今日取り扱う「大麻」については、空間認知や時間感覚など「意識の変容」を引き起こすことがあることを記憶に留めてもらいましょう。

スライドの解説例

乱用される薬物は、様々な種類があり、その作用も様々です。簡単に分けられるものではありませんが、精神を興奮させるもの、精神を抑えるもの、感覚を歪めて幻覚作用をもつものがあります。今日、主に取り上げる大麻は、空間の認知や時間の感覚などに異常を引き起こすことがあるとされ、抑制系・幻覚系の薬物といえそうです。

危険ドラッグ問題を覚えていますか？



ポイント

危険ドラッグは一つの物質名ではなく、様々な種類があります。その中で、人工的に作り出した大麻に似かよった化学物質（合成カンナビノイド）は大きな社会問題を引き起こしたことを説明します。

補足

2014年6月24日午後8時頃、池袋駅近くで暴走した車が歩行者を次々にはねました。これにより女性1名が死亡、6人が重軽傷を負いました。合成カンナビノイドが原因とされています。

スライドの解説例

危険ドラッグとは、一つの物質を指す名称ではありません。様々な種類があり、その作用も興奮系、幻覚系、抑制系があります。危険ドラッグの始まりは、「合法で安全な大麻」という誤った情報で広まった大麻に似かよった化学物質（合成カンナビノイド）でした。この合成カンナビノイドによって交通事故などが多発しました。池袋で起きた事件を覚えている人もいるかもしれません。

最近、大麻に関するニュースを聞きませんか？

ポイント

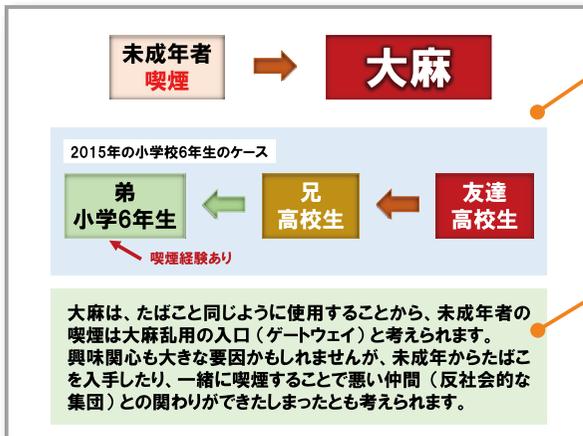
最近、大麻が課題になっていることに気付いてもらいます。

補足

2015年7月に危険ドラッグを販売する店舗が0になっています。

スライドの解説例

最近、危険ドラッグによる事件や事故は報道されなくなりました。一方、大麻に関する報道が増えています。2015年には小学生6年生の男の子が大麻を吸引したとして社会問題化しました。



ポイント

未成年者の喫煙や飲酒が薬物乱用のゲートウェイになることについて説明します。

ポイント

大麻は覚せい剤のゲートウェイになり得るのですが、それは単に作用からだけでなく、社会的要因にあることに触れるようにします。

スライドの解説例

先ほど紹介した大麻事件では、当事者の小学校6年生には喫煙経験があります。大麻は、たばこと同じように吸引して使用することから、未成年者の喫煙は大麻乱用の入口（ゲートウェイ）と考えられます。

また、入手経路は、兄からであり、その兄も友人からです。大麻乱用のきっかけは、興味関心も大きな要因かもしれませんが、未成年からたばこを入手したり、一緒に喫煙することで悪い仲間（反社会的な集団）との関わりができてしまったとも考えられます。



ポイント

我が国における薬物乱用の状況を説明し、大麻については高校生を含む未成年者の乱用が拡大していることを伝えます。

補足

2013年(平成25年)の未成年者の検挙者数は59人で検挙者全体における割合は3.8%でした。それが、2018年には429人と約7倍になり、検挙者全体における割合も12%となっています。

スライドの解説例

日本では、毎年違法薬物の乱用等で1万数千人の人が検挙されています。覚せい剤事犯がもっとも多いのですが大麻事犯2番目に多くなっています。また、未成年者の覚せい剤事犯による検挙者数は明らかな減少傾向ですが、大麻事犯については近年急増しています。大麻事犯は、20代の若者が多いことも特徴的です。

大麻乱用により交通事故等が増加？



時間感覚の変化

ポイント

大麻の乱用が増えることにより、交通事故等が増える可能性があることを危険ドラッグの経験を踏まえ考えるようにしましょう。

補足

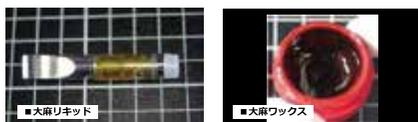
嗜好用大麻の販売を合法化したコロラド、ネバダ、オレゴン、ワシントンの4州の調査では衝突事故が6%増加したことが報告されています(米道路損害データ協会)。

スライドの解説例

大麻には、空間認知機能の低下や時間感覚の変化を引き起こす作用があります。大麻の主な成分であるテトラヒドロカンナビノール、略してTHCという物資に類似の作用をもつ危険ドラッグで交通事故等が増えたことから大麻でも同様の問題が起きかねません。アメリカでは、嗜好用大麻の販売を合法化した州のうちコロラド、ネバダ、オレゴン、ワシントンの4州の調査では合法化後に衝突事故が増加したといわれています。

新たな大麻の脅威！

大麻の使用形態が変わってきていて、より若者が手を出しやすくなってきている。



THCが濃縮され健康影響等が出やすくなっている

ポイント

近年、大麻の主な成分であるTHCの増加していること、またTHCを濃縮した加工品が出回っていることを説明します。

補足

麻薬取締部が鑑定した濃縮大麻の検体数は2016年22件、2017年28件だったが、2018年は4月末時点ですでに80件に急増しています。

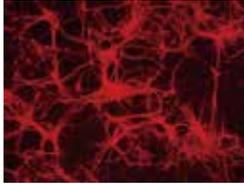
スライドの解説例

最近、THCの含有量が高い大麻だけでなく、それを何十倍にも濃縮しているワックスやリキッドと呼ばれるものが我が国でも出回っています。前述したように大麻の成分THCには認知機能の低下や記憶障害、依存症がありますが、これらは、これまでの大麻とは比べ物にならないくらいの強い害が出る懸念されています。また、海外では、大麻入りの食品があるようですが、もちろん日本に持ち込むことはできません。

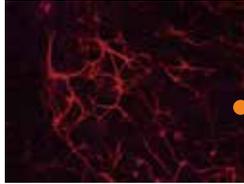
未成年者の大麻乱用は、危険！

大麻類似の危険ドラッグ成分
添加2時間で神経破壊(マウス)

正常の神経



成分有



国立精神・神経医療研究センター 船田 正彦 室長 提供



ポイント

この写真は神経細胞を培養したものであり、大麻の成分 (THC) 類似物質を入れることにより神経細胞のネットワークが破壊されていることについて説明します。

ポイント

THC 含量の多い大麻関連品が出回っており、発育発達時期の高校生には極めて危険であることを伝えましょう。

スライドの解説例

これは、大麻と同じ作用をもつ成分を使って、神経に与える影響を実験したものです。この様に、脳や体の神経線維がたった2時間で壊されてしまいます。濃縮された大麻加工品も、神経へ強いダメージを与えることが考えられますね。特に神経が形成される青少年の時に、大麻を使っているとIQが低下すると言われています。

補 足

カナダやアメリカのカリフォルニア州などでは、嗜好目的での大麻の使用が認められていることを知っている生徒もいます。

ポイント

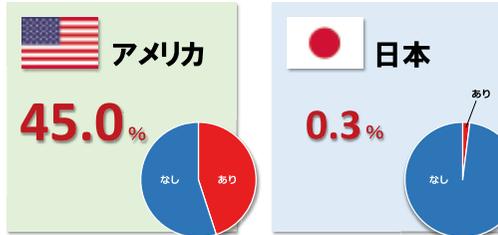
それは、大麻がそれほど危険じゃないと判断しているからではないことの理解を深めるために、生徒に考えるきっかけを与えましょう。

スライドの解説例

この中には、「カナダやアメリカのカリフォルニア州などでは、嗜好目的での大麻の使用が認められている」ことを知っている人もいるでしょう。そのことから、「大麻がそれほど危険じゃないって判断しているからじゃないのかな?」と考えた人もいるかもしれません。それは、本当でしょうか?では、アメリカやカナダの大麻乱用の状況を見てみよう!

**アメリカやカナダの大麻乱用の拡がりは、
日本では想像もできない！**

(これまでに一度でも大麻を使用したことのある高校生の割合)



出典: Monitoring the Future Study (2018)
Japanese Youth Survey Project on Alcohol and Other Drugs (2009), 藤野真吾他, 2012

ポイント

日本と比べるとアメリカやカナダでは、大麻乱用の拡がりが全く異なることを説明します。

補足

カナダでは、15歳以上の人の大麻経験率が46.6%となっています (Statistics Canada, 2017)。

スライドの解説例

アメリカでは、生まれてから一度でも大麻を使用したことのある高校生の割合は、45.0%の人です。アメリカやカナダでは大麻が身近な存在であると考えられます。一方、日本では、一度でも大麻を使用したことのある高校生人の割合は、0.3%です。しかし、少ないと言っても、1000人の高校生人がいればその中に3人は大麻を使ったことのある人がいることになるので決して他人事とは言えないと思います。

大麻は、反社会的組織の資金源！



出典: National Cannabis Survey (NCS)

カナダにおける大麻の闇市場が極めて大きなものであることを説明します。また、反社会的な組織は、大人に限定して売のようなことはしないことにも触れましょう。

スライドの解説例

カナダにおける大麻の市場は極めて大きなものです。その市場規模は、推定で年間約5,000億円とも言われています。これをカナダ国民一人当たりの金額にすると約10万3千円にもなります。また、反社会的な組織は、子どももターゲットにして大麻を売りつけようとしています。

アメリカやカナダでも未成年者の

大麻使用は絶対ダメ！



- ・嗜好目的での使用を年齢制限等をつけて認めているのは一部の州だけです。連邦法(国)では大人でも違法です！
- ・NIDA(米国立薬物乱用研究所)では大麻には依存性があり、健康に有害な薬物としています。



- 大麻が健康に良いと考えているからではない！
- ・子供の身体への悪影響を防ぎ子供の安全を守るためです。
- ・政府管理にすることで、組織犯罪が得る利益を大幅に削減するためです。

トッドー首相の議会やSNSでの発言要旨



ポイント

アメリカでも国としては大麻には依存性があり、健康に有害な薬物として注意を喚起しており、乱用は違法であることを説明します。

ポイント

カナダでは反社会的な組織を撲滅し、子供たちを守るために大麻を国の管理下に置かざるを得ない状況であったことを説明します。

補足

アメリカでは、州によっては大麻栽培などをした者には銀行融資などが受けられないなど社会的規制があります。

スライドの解説例

アメリカやカナダでも大麻は本当に自由なのでしょうか？ アメリカでも一部の州では嗜好目的での使用を年齢制限等を付けて認めています。連邦法(国)としては違法です！ 国の機関でも大麻には依存性があり、健康に有害な薬物として注意を喚起しています。また、カナダでも子供の身体への悪影響を防ぎ子供の安全を守るためであり、国が管理することで、組織犯罪が得る利益を大幅に削減するための政策です。したがって、決して大麻が健康に良いと考えている訳ではありません。

考えてみよう！



日本で大麻乱用の拡大を防ぐために、一人一人にできることは何ですか？

もう一度日本において大麻の乱用が増えている要因について考えてみましょう！



ポイント

日本では、アメリカやカナダで行われているような政策が必要ないとの考えが導き出せるようにします。

スライドの解説例

皆さんは、インターネット等を通じて様々な情報を得ることができます。今日の講義を聴いて何か新しい発見がありましたか？ もう一度日本において大麻の乱用が増えている要因について考えてみましょう！ その上で、日本で大麻乱用の拡大を防ぐために、一人一人にできることは何ですか？ これで、本日の講義を終了しますが、皆さん考えてみてください。

本冊子の活用

本冊子は、薬剤師（特に学校薬剤師）が「薬物乱用防止教室」の講師として高等学校に呼ばれた際に、薬剤師ならではの講演を行う素材を例示したものです。薬剤師の専門性とは、必ずしも専門性の高い内容を細かく指導することではないと考えています。薬剤師ならではの気付きを生徒に伝えていただくことが大切だと思っています。

高等学校の1単位時間は50分です。今回例示した「アンチドーピング編」及び「大麻編」は、それぞれ14枚のスライドで構成されており、20分程度で話ができます。「薬物乱用防止教室」の形態は、各学校によってそれぞれであり、他の講師と分担する場合はどちらかを選んで使うこともできます。

本冊子の内容は、パワーポイント資料があり、下記ホームページからダウンロードできます。

検索

東京薬科大学 薬学部 社会薬学研究室

東京薬科大学ホームページ→薬学部→研究室紹介（医療薬学科の研究室→社会薬学）→資料・アンケート→薬物乱用防止教育参考資料

<https://www.ps.toyaku.ac.jp/shakaiyakugaku/>

（お願い）パワーポイント資料をダウンロードされた方は、資料の活用状況等について簡単なアンケートが用意されています。ご協力をお願いいたします。

（お願い）授業アンケートを実施していただける方には、別途質問紙等を郵送します。受付は上記ホームページで行っています。（2021年3月末まで）

作成者一覧（50音順、2019年4月現在）

◎代表者

笠原 大吾	沖縄県薬剤師会・学校薬剤師部会副会長
加藤 哲太	日本くすり教育研究所・代表理事
◎北垣 邦彦	東京薬科大学・教授
鬼頭 英明	法政大学・教授
嶋根 卓也	国立精神・神経医療研究センター・室長
大黒 幸恵	新潟県学校薬剤師会・副会長
田口 真穂	横浜薬科大学・講師
七嶋 和孝	長崎市薬剤師会・専務理事
並木 茂夫	日本学校保健会・事務局顧問
畑中 範子	千葉県学校薬剤師会・会長
船田 正彦	国立精神・神経医療研究センター・室長
村松 章伊	日本薬剤師会・学校薬剤師部会副会長
山口 一丸	名古屋市学校薬剤師会・会長
東京薬科大学社会薬学研究室一同	

本冊子は、公益財団法人日本健康アカデミーの「健康知識・教育に係る公募助成」を受け作成されたものです。